

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



版画 田中 一郎
金鑽 神社

大事
今を
に

Contents

ガバナーメッセージ	2	表彰	10
新世代のための月間	3	新入会員の紹介	11
ガバナー公式訪問報告	6	今月の表紙	12
米山奨学部門セミナー報告	8	9月・10月のスケジュール・文庫通信	13
職業奉仕部門セミナー報告	8	7月度 出席及び会員数報告	14
クラブ奉仕部門セミナー報告	9		

国際ロータリー第2570地区
2009-10年度ガバナー
加藤 玄静

ガバナー事務所
〒367-0041 埼玉県本庄市駅南2-2-1 埼玉グランドホテル本庄2F
TEL:0495-22-8035 FAX:0495-22-8036
E-mail: info2009@mail.rid2570.gr.jp

9

2009.9.1



～今を大事に～

21世紀を担う新世代の活動を支援する

ガバナー 加藤 玄静

若者にロータリアンが青少年指導者養成（ライラ、RYLA）を開講することにより、個々の能力開発の向上をはかり、合わせて国際理解に貢献する青少年活動プログラムの成果を上げる事が、新世代に対する基本方針と考えられます。

国際ロータリーでは全てのロータリークラブに月間を定め、担当委員会だけでなく、ロータリークラブ全体でその目標を再確認し実践することが狙いであります。

又、ロータリークラブは、地域社会レベルで、新世代の人々が地域の指導者と関心事を話し合い、「希望、夢、抱負」を表明し、地元地域社会の問題の解決策を探るための討論の場を提供すべきであります。

しかしながら地区の現況は、ローターアクトクラブは3クラブ。インターアクトクラブは、基本となる各校の顧問教師会の努力・指導があるにも拘わらず減少し、11クラブで地区を構成しております。

また、「青少年交換事業」も国際奉仕部門から、新世代部門に統合され、委員会活動も拡大されました。

中国の諺に、「一年の計は穀を樹うるにしくはなく、十年の計は、木を樹うるにしくはなく、終身の計は、人を樹うるにしくはなしと言われておりますが、百年の大計は「人づくり」であります。

正しく、新世代部門が担当する4つの事業は、将来ある青年男女の皆様が日本の伝統文化や、生きた社会奉仕活動、真の国際交流を身につけるには最適のプログラムであります。

そのほかにも、ロータリアンを模範として、「倫理、奉仕、親睦の理念」についても学ぶことができます。「今を大事に」若い人全てを含む新世代の多用なニーズを認識し、少しの勇気を持って第一歩を踏み出し、新クラブの結成を目指そうではありませんか。

緊急提言

新型インフルエンザ対策を心掛けましょう。

社会奉仕プロジェクト部門 委員長 金子 圭典
健康・福祉委員長 花家 孝之

新世代のための月間

新世代月間について

新世代部門委員長 野口 健吉 (東松山むさし RC)



9月是新世代のための月間です。

新世代とは14歳から30歳までの若い次世代をになう青少年の為にロータリーが青少年育成等をお手伝いすることで新世代委員会には3つの委員会が所属しております。

1. アクト委員会

インターアクトクラブ

主に高校生を対象に2570地区では11クラブが所属しており8月2日に年次大会が狭山ヶ丘高校で160人の生徒、RC会員が集まり

盛大開催されました。

顧問教師会の会議の中で、会員の減少に苦慮されている話が出ており提唱クラブのサポートを依頼したいと考えております。

ローターアクトクラブ

大学生を中心に活躍されており、2570地区では3クラブ所属しており、各クラブ独自の活動をしており今後益々の活躍を期待致します。

2. 青少年交換委員会

国際理解と親善を促進するプログラムです、相異なる国民や民族間の理解と友好関係の増進に寄与しており今年度は親善大使として8人を派遣し、7人の留学生を受け入れます。

問題点として、スポンサークラブ、ホームステイの確保が困難でありご協力をお願い致します。

3. ライラ委員会

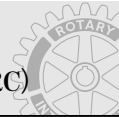
インターアクト・ローターアクト・ローテックス・青少年交換留学生等の参加を得て青少年指導者養成研修会を2010年3月に開催する予定で準備を進めております。詳細は後日ご連絡致しますので多数の御出席をお願いします。



第43回インターアクト年次大会 (基調講演: 石川嘉彦 P.G.)

新世代月間に例会企画を

アクト委員長 森田 光一 (東松山むさし RC)



私たちロータリアンは、奉仕という崇高な使命を胸に日々精進し活動しています。とりわけ、年齢30歳までの青少年の未来を価値あるものにするための支援は、私たちロータリアンに課せられた重要な使命です。

9月は「新世代月間」です。同時に、改めて私たちロータリアン一人ひとりの思考や行動が、青少年から尊敬されるに相応しいものかどうかを考える月間でもあります。わが国の青少年を取り巻く環境は決して良好とは言えません。一番の課題は家庭の教育力不足です。日本人の精神性には長年の間、取捨選択された一定の価値観が基本にあったはずで、すなわち、勇気、誠実、正義感、慈愛、忍耐、礼節、惻隠、名誉と恥、卑怯を憎む心…しかし、現実には相対的価値観が支配し、自分さえ良ければそれでよしとする社会に変わってしまいました。

まず、私たちロータリアンはインターアクト、ローターアクトの活動を通じて、青少年に奉仕と国際理解に貢献する心を育てはぐくむ機会を提供しなければなりません。区内11のインターアクトクラブ、及び3つのローターアクトクラブの提唱ロータリークラブは、「新世代月間」にあたり、例会企画としてインターアクト、ローターアクト各クラブへの連携、指導の機会を持つことが必要です。また、提唱ロータリークラブ以外のクラブは、「新世代」に関する例会企画により、会員の「新世代」に対する意識啓発をおこない、新しいインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ結成に向けての取り組みを進める努力が必要です。「新世代月間」にあたり、各ロータリークラブでは「ロータリアンは青少年の模範」という標語を会報や広報資料に掲載し、会員の意識啓発に努めましょう。

新世代に期待して

青少年交換委員長 中川 正明 (東松山 RC)



この青少年交換委員会に所属して4年目になります。最初の2年間は小島前委員長の下で会務をこなす中、来日生・派遣学生・ROTEXなど16-26歳の若者と多少のかかわりはありましたが、あまり深い交流を感じないままに過ごしてまいりました。しかし昨年度から委員長を任せられ派遣学生の選考・教育、更に交換相手国の選別・交渉や来日学生の教育などに中心的に携わるようになってからは、新世代の育成ということが非常に大切なプログラムであることを実感するようになりました。この地区の青少年交換は今年度は8名（来日学生は7名）を行いますが、来年度派遣候補生も加えて十数名の高校生を対象のオリエンテーションを通じてグローバルな感覚を養成することにより、次世代に向けて世界平和を達成させることが我々の目標であります。他の新世代部門であるインターアクト・ローターアクト・財団奨学生・米山奨学生との交流によりお互いのグローバルな感性を高めてもらいたいと願っています。

各クラブにおかれましても交換学生を1人世話することにより若者の世界を全地球的にのぞき見る感じで大変楽しいプログラムであると思います。皆様のご支援をお願い申し上げます。

第四回「ライラデー」開催決まる

ライラ委員長 藤島 弘士 (越生毛呂 RC)



いよいよ加藤年度の幕が開き、九月には新世代月間を迎えます。我々ライラ委員会は7名の委員で構成され、小池アドバイザー、野口部門委員長を中心に致しまして、加藤年度を有意義に活動したいと考えております。

ライラ委員会と致しましては、ライラデーを盛大に実施すべくこれを中心に今後委員会を重ねて行きます。幸いに過日、第2回の委員会を開きまして概ねのタイムスケジュールが決まろうとしております。

第四回のライラデーは2010年3月6日(土)に嵐山の国立女性会館で開きます。タイムスケジュールの内訳として午前の部と致しまして吉見町在住の桜庭俊昭先生をお迎えし、南極越冬隊員としての経験談をお話頂きます。午後は「平成の寺子屋、元気塾」主宰、斉藤祥子先生をお迎えし、加藤ガバナーのテーマであります「今を大事に」を演題として講演して頂き、そのテーマに基いて参加者と先生、ロータリアン等々でワークショップを行う予定です。

このライラ活動を通じまして、ロータリーの哲学や価値観を新世代の方々に広く理解してもらえれば幸いです。今後共、2570地区のロータリアンの皆様のご協力を頂く事に相成りますが、どうぞお力をお貸し頂きたくライラ委員会一同お願い申し上げます。

新世代月間に寄せて

日豪青年相互訪問委員長 大舘 廣 (所沢中央 RC)



日豪青年相互訪問プログラムは今年34回目を迎えました。この間、約1,000名に上る日豪両国の若者の交流を支援してまいりました。

私自身も2005～2006(野中年度)に2週間ホームステイを受け入れ、オーストラリアを2週間訪問、このプログラムの特徴である人間同士の真の交流や文化・自然等を体験してまいりました。

また、両国の違いを体感することにより、日本の歴史・伝統・文化等の素晴らしさをあらためて実感できる素晴らしいプログラムでありました。

このような経験を踏まえ、今年度は以下を重点課題として取り組み、プログラムの更なる充実を図りたいと考えております。

- ① プログラムに伴うリスク対策(事故・病気・セクハラ等)を実施していく
- ② 派遣団員の組織化・活性化をさらに進め、団員相互の交流やプログラムへの協力、ロータリー活動の広報、次世代ロータリアンの育成等

当委員会は3年委員会であり、今年度の委員会メンバーの大半は団員派遣やホームステイの受け入れ、オーストラリアを訪問したことのある経験豊富な委員で構成されており、皆様の期待に十分応えられると自負いたしております。

参加を検討される会員の中には、言葉の問題やホームステイに対する不安等で躊躇される方もおられると思いますが、事前のガイダンスや委員会の全面的な支援により特にご心配はおりません。

素晴らしい感動が得られるプログラムであり、是非これを機に次世代を担う青年にチャンスを与えていただけるようお願いいたします。

すでに応募要領は7月17日付にてクラブ宛送付してありますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2009 - 10 年度

ガバナー公式訪問 報告

今を大事に

川越ロータリークラブ

会長 小谷野 和博／幹事 西澤 堅

加藤ガバナーより入会3年未満の会員に対して、「休むと出にくい」「例会時間前後を使いメンバーとのコミュニケーションを深める」「職業＝正業」など、ロータリークラブ活動参画の心構えを分かり易くお話をいただきました。又会員からもサラリーマン会員として、二世会員として発言があり、時間が足りないくらいでした。

今年度「今を大事に」をテーマに「クラブ支援」を基本に地区を運営していきたいと力強いお話をいただきました。さらに「地区はピーク時に比べ1000人会員数減・3000万円予算減の大変厳しい状況下にある」「ロータリーの基本はクラブであり、クラブの基本は例会である」「正業に励む」「陰徳から陽徳へ」

など、ガバナーの考えを分かり易くお話いただきました。

「年度事業計画書」をもとに各部門委員長、各小委員長より今年度の取り組みについて発表があり、部門ごとにガバナーにコメントをいただきました。時間オーバーをするほど熱心な協議が展開されました。



2009. 7. 21

上福岡ロータリークラブ

会長 土屋 哲雄／幹事 菊池 博

加藤玄静ガバナーと西川武十郎ガバナー補佐が平成21年7月22日、上福岡RC開催公式訪問例会に来訪されました。午前11時から12時まで土屋会長、菊池幹事、新会員の志摩会員と懇談会を行い、12時から昼食を会員とともにとり、12:30から公式例会を行いました。ガバナーには13時から30分以上に渡って卓話を頂き、ロータリーの現状、2570地区の現状、今年度、これからの課題・目標などについてお話しいただきました。「今を大事に」を地区テーマとする加藤玄静ガバナーのロータリーそしてロータリアンに対する熱い思いが込められたお話しを頂きました。13時半からはクラブ協議会を行いました。年度計画書に書かれたこと、そしてロータリー全般のことと、各メンバーから今年度の目標

や予定を発表し、ガバナーにコメントを頂きました。長時間でもありメンバーの遅参・早退が途中にあったものの、100%出席で大変有意義な例会となり、加藤ガバナー、西川ガバナー補佐、そして同行された本庄 RC 八木茂幸地区副幹事に感謝申し上げます。



2009. 7. 22

入間ロータリークラブ

会長 細淵 克則／幹事 山岸 義弘

7月23日（木）加藤ガバナー、佐藤ガバナー補佐をお迎えして、安川電機武蔵クラブにて公式訪問例会が開催されました。浅田地区研修委員長、坂本地区副幹事の両地区役員を随行してのご来場で、ガバナー及び3人目のガバナーを誕生させた本庄 RC の情熱勢いを感じました。

11:00より入会3年未満の会員6名を交えてのガバナー懇談会では、ロータリーの素晴らしさを、ガバナーご自身の豊富な体験を通して、懇切丁寧に説かれていたのが印象的でした。

12:10より20分間は入間クラブ恒例のロータリー美術館（注）を開催、加藤ガバナーは、展示された会員所蔵の美術品或いは会員及び会員家族の作品の解説説明を熱心に聴いていらっしゃいました。

その後の例会およびクラブ協議会においては、ガバナー、ガバナー補佐よりご講演、講評、総評を通じ、適切なるご指導及び、50周年に向けての激励も戴きました。

（注）美術の鑑賞を通して情緒を深め、知識教養を高め、親睦を深めるを課題とする入間 RC 独自の伝統ある委員会



2009. 7. 23

加藤ガバナー公式訪問2009年7月23日

羽生ロータリークラブ

会長 高橋 実／幹事 平野 賢治

去る7月28日、羽生市民プラザに於いて、第2570地区「加藤玄静ガバナー」に公式訪問をいただきました。

当羽生クラブは総勢36名（7月1日現在女性会員2名）です。ご多分に漏れず、会員の減少傾向にあり、その中でも会員増強を計った結果、入会3年未満の会員が14名と多く、また本年度から「CLP」導入をした経緯もあり、会場の準備など当日を迎えるまで多少不安な気持ちでした。しかし、却ってこうした状況が功を奏したのか、会員の協力体勢には個人的にもびっくりしております。当然、十分な応対とはいきませんが、誠意を尽くして出来たのだとは思っております。また、「CLP」の効果は目に見

えて出てきており、本年のロータリー運営に弾みがつきそうです。

加藤玄静ガバナーには、当日数々のご教授をいただき、紙面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



2009. 7. 28

加須ロータリークラブ

会長 片山 秀丈／幹事 堀越 康司

7月29日ガバナー公式訪問がおこなわれました。加藤ガバナー、細井ガバナー補佐、2570地区で本庄から最も時間のかかる加須クラブへ、連日のクラブ訪問でお疲れのところ、また蒸し暑い中ようこそお越しくださいました。

当日は、11時より会長・副会長・幹事との懇談、その後入会3年未満の会員7名を交えての懇談会を開催しました。皆少々緊張気味ではありましたが、「入会の動機や今の悩み、会員の3大義務」等々、ガバナーと直接会話をさせていただきました。昼食後の例会では、加藤ガバナーより卓話をいただき、ご自分の経験談も交えて幅広い角度からの貴重なお話をお伺いしました。

例会後のクラブ協議会では、各委員会・委員長の発表に対して、ガバナー補佐より細部にわたりやさ

しいコメントを、またガバナーからCLPも含めて全体にわたりアドバイスをいただきました。ガバナーのお言葉が胸に沁みる有意義な1日でした。5時間に亘る公式訪問誠にありがとうございました。



2009. 7. 29

坂戸ロータリークラブ

会長 荻野 敏博／幹事 井伊 京一郎

坂戸さつきロータリークラブ

会長 岡部 みゆき／幹事 梅澤 将明

7月30日（木）に、坂戸・坂戸さつきRC公式訪問が坂戸グランドホテルにおいて行われた。

坂戸さつきRCはガバナー補佐訪問時点で「ロータリーの友七月号・ガバナーの横顔」を全員で音読し盤石の体制で、ガバナーをお出迎え。

格調高いガバナー卓話を厳粛に聞き、クラブ協議会に入った。

クラブ協議会では会長が方針を述べたあと10名の委員長がさつきRCの魅力を一言で表したあと、自分の言葉で年間方針を述べた。3分30秒以上5

分以内で時間を計った。見事なほど時間通りに、スムーズな発表となった。

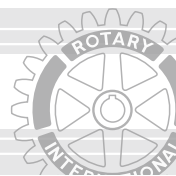
PROUD OF ROTARY ロータリーに誇りを（坂戸さつきRC 2009～年度目標）

そして今を大事に活動をさらに活性化いたします。そしてガバナーと新入会員増強を年間5名目指して邁進いたします。



2009. 7. 30

第1回「米山奨学部門セミナー」を開催



米山奨学部門 委員長 大澤 衛（和光RC）

加藤ガバナー年度第1回セミナーを、去る7月12日（日）東松山「紫雲閣」にて開催。13時30分から16時30分まで、加藤ガバナーの点鐘、ご挨拶に続き、担当諮問委員である梅澤P.G、ご来賓の米山奨学会副理事長金子P.G、から米山奨学会の事業活動のご説明をいただき、今年度は特に、危機管理委員会石川P.G、より「ハラスメント」等の注意点を特別にご講義いただきました。

本会議では、前年度当地区の寄付金総額が3,470万円。一人当たり平均寄付額17,645円と年度当初の目標を達成させていただきましたことを報告。お礼を述べさせていただきました。そして、今年度も地区目標額3,500万円を目指し、クラブ会長・米山委員長さんを始め、会員皆様方によりいっそうのご協力をお願いいたしました。

いよいよ、恒例の「米山

奨学生による自己紹介と3分間スピーチ」の時間となり、2年目の奨学生となる「黄 一穎（中国）」さんから、順次、自己紹介と米山奨学生になって感じたことなどを、お話いただきました。スピーチ直後から、多くのクラブより米山月間の「卓話」依頼を受け、当日現在36クラブの予定をいただいております。なお、未定のクラブに於かれましても、月間に拘わらず伺う所存でございますので、ガバナー事務所まで、ご連絡願います。

当初の参加予定者を25%も超える122名のご

参加をいただき、地区内の米山部門への大きな期待を感じられ、重責を感じながらも、大変充実した一日をロータリアンの皆様方と過ごすことができましたことを地区米山奨学委員会の代表といたしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。



第1回職業奉仕部門セミナー報告



職業奉仕部門 委員長 新井 弥男（所沢RC）

加藤ガバナー年度の第1回職業奉仕部門セミナーが去る7月18日（土）本庄市の本庄商工会議所会館において開催されました。

当日は三連休の初日の渋滞にも拘わらず加藤ガバナー、石川研修リーダー、鈴木アドバイザー、浅田研修委員長はじめ多数の地区役員、そして地区部門委員全員の皆様のご出席を頂き、

また各クラブから会長、職業奉仕担当者を加えて総勢110名に近いセミナーとなりました。

特に今回は職業奉仕委員会と職業倫理委員会から成る部門に集約されて初年度という事で各クラブに資料を事前に配布をし、そして会場設営もほとんど委員の手づくりという事で、非常に和やかでアットホーム的な雰囲気が漂っていたのではないかと感じている所です。

まずセミナーを三つの大きな眼目に分けてみました。

その一番目が、鈴木アドバイザーによる「心にぬくもりのある職業奉仕」と題しての基調講演であります。その中でロータリーの基本論、そして職業奉仕の原点とその重要性について説かれ、更には具体的に「買う身になって物を売り」「使う身になって物を作り」「受ける身になってサービスをする」と講演され、出席者一同それぞ



れ感銘を受け、研修の実があがったと確信している次第です。

その二番目が、「忘れられた職業奉仕とは」と題してのパネルディスカッションであります。新井がコーディネーターになり、渡辺、平岡両委員長と福嶋副委員長にパネラーをお願いし、まずそれぞれ職業奉仕感を語って頂き、次にご自分の正業からみた職業奉仕とは、そして最後に各クラブへの本年度の職業奉仕活動に対するアドバイスという事で討議をして頂き、出席者にいかに職業奉仕が大事かを認識してもらう為にも大いに役に立ったのではないのかなと自負している所です。

その3番目が「心にぬくもりのある職業奉仕」「忘れられた職業奉仕とは」のテーマをうけての各グループ討議であります。

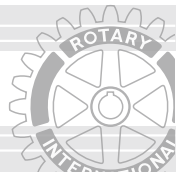
9つのテーブルに分け、それぞれ座長、記録係を配し、一つのテーブル10～12名で全員の方

に意見を述べてもらうというやり方です。

ただ会場が広い為、話が聞きとりにくい点もありましたが、参加者全員が熱心に意見交換をするという事で、有意義であり、勉強にもなり貴重な時間ではなかったかなと思っております。後日、御意見を整理統合して報告したいと存じております。

なにはともあれ結果が表れない、また結論がない部門ではありながらも、5時の終了までロータリーならではの途中退席する方のほとんどいない、中身の濃いセミナーができたと感じますし、是非とも職業奉仕部門の重要性の認識を各クラブでより醸成して頂ければ開催した意義があったと思いますし、またそれを期待申し上げ末筆にはなりますが部門委員の皆様方の多大なるご協力に心より感謝を申し上げまして報告といたします。

クラブ奉仕部門セミナー報告



クラブ奉仕部門 委員長 栗山 昇（朝霞RC）

7月25日（土）当日、関越自動車道の事故の影響で大渋滞にも拘わらず、出席予定者の殆どが間に合い定刻より5分の遅れで埼玉グランドホテル本庄において第一回クラブ奉仕部門セミナーが開催された。

セミナーに先立ち、加藤玄静ガバナー、石川嘉彦研修リーダー、真下和男部門アドバイザーより御挨拶をいただいた後、組織・CLP対応委員会（栗山昇委員長・以下組織委員会という）のテーマ「例会を中核とするクラブ奉仕について」と広報・記録委員会（井花富男委員長・以下広報委員会という）のテーマ「広報のあり方」について、地区のクラブ奉仕部門としては初めての試みでありますそれぞれ五つのテーブルに約10クラブずつ分かれ、出席者全員参加のグループ討議形式で行われた。

組織委員会については、「クラブ奉仕・運営・組織に関するアンケート」の全クラブから提出された回答を中核としての例会の現状、広報委員会については、いくつかのクラブ提出されたプレスリリースの事例研究を中核としての広報のあり方についてそれぞれ45分間の討議、意見交換が行われた後、討議内容につき各テーブルの発表者より報告があった。

発表の内容をいくつか要約すると、会員中心に卓話をするクラブが増加している。親睦

については、ほとんどのクラブが、会員、家族参加型になっている。例会変更については、概ね8～10回ぐらいである。ソングについては、全クラブが、第一例会に国歌、他にロータリーソングが歌われている。残念な結果として、新会員に対する援助会員を選任しているクラブは23クラブしかなかった。プレスリリースについての理解が十分浸透されていないようである。

ロータリー活動を地域社会に理解してもらう為の広報としての手段はマスコミを多に活用することが大切である事を痛感した。

初めての試みで行われたセミナーであったが、最後まで心地よい緊張感溢れるセミナーであった。



表彰

米山功労者
(10回目)



宮前 英雄
(皆野長瀬 RC)

米山功労者
(1回目)



渡辺 由紀子
(羽生 RC)

米山功労者
(7回目)



幸島 五一
(秩父 RC)

米山功労者
(7回目)



萩野 薫
(深谷 RC)

米山功労者
(3回目)



大谷 幸子
(深谷 RC)

米山功労者
(7回目)



小林 公男
(狭山 RC)

米山功労者
(2回目)



阿部 博
(児玉 RC)

ポール・
ハリス・フェロー



三上 紘一
(志木 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



星野 進
(秩父 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



宮前 英雄
(皆野長瀬 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



黒澤 徳樹
(皆野長瀬 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー (3回目)



木川 一男
(飯能 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



阿部 博
(児玉 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



吉田 勝敏
(深谷 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



吉田 真人
(深谷 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



佐藤 信男
(狭山 RC)

新入会員のご紹介



石 井 一 則

ク ラ ブ 名：熊谷南RC
入会年月日：2009年7月1日
勤 務 先：プルミエール
生 年 月 日：1958年6月11日



田 村 宏

ク ラ ブ 名：川越西RC
入会年月日：2009年7月1日
勤 務 先：タムラ医療機器販売(株)
生 年 月 日：1967年9月30日



清 水 宏 一

ク ラ ブ 名：東松山むさしRC
入会年月日：2009年7月2日
勤 務 先：(株)清水園
生 年 月 日：1943年7月15日



青 木 正 彦

ク ラ ブ 名：深谷ノースRC
入会年月日：2009年7月6日
勤 務 先：埼玉グランドホテル深谷
生 年 月 日：1962年3月22日



笠 原 勝

ク ラ ブ 名：本庄RC
入会年月日：2009年7月9日
勤 務 先：こだま企画
生 年 月 日：1942年9月27日



金 沢 喜 作

ク ラ ブ 名：本庄RC
入会年月日：2009年7月9日
勤 務 先：(株)中榊
生 年 月 日：1940年5月7日



阪 上 清之助

ク ラ ブ 名：本庄RC
入会年月日：2009年7月9日
勤 務 先：(株)清香園
生 年 月 日：1955年1月1日



野 原 章 司

ク ラ ブ 名：本庄南RC
入会年月日：2009年7月13日
勤 務 先：(有)本庄孔版社
生 年 月 日：1958年5月25日



武 笠 行 男

ク ラ ブ 名：深谷RC
入会年月日：2009年7月14日
勤 務 先：埼玉製鐵原料(株)
生 年 月 日：1948年7月30日



小 川 智

ク ラ ブ 名：熊谷東RC
入会年月日：2009年7月15日
勤 務 先：さくら歯科医院
生 年 月 日：1963年4月21日



巽 正 典

ク ラ ブ 名：所沢東RC
入会年月日：2009年 7 月16日
勤 務 先：タツミ建設工業(株)
生 年 月 日：1938年 6 月26日



高 橋 正 樹

ク ラ ブ 名：秩父RC
入会年月日：2009年 8 月 4 日
勤 務 先：(株)むさしの
生 年 月 日：1966年 1 月25日



大 崎 和 幸

ク ラ ブ 名：吹上RC
入会年月日：2009年 8 月 4 日
勤 務 先：おおさきクリニック
生 年 月 日：1960年11月24日



加 藤 丈 幸

ク ラ ブ 名：熊谷RC
入会年月日：2009年 8 月 7 日
勤 務 先：東京海上日動火災保険(株) 熊谷東支社
生 年 月 日：1963年 5 月 5 日



後 閑 純 一

ク ラ ブ 名：本庄南RC
入会年月日：2009年 8 月10日
勤 務 先：東洋エクステリア(株)
生 年 月 日：1949年 7 月27日



村 田 貴 紀

ク ラ ブ 名：本庄南RC
入会年月日：2009年 8 月10日
勤 務 先：(株)KSコーポレーション 本庄営業所
生 年 月 日：1971年 1 月11日

今月の表紙



金鑽神社(本庄市千代田3)
日本武尊が東征のみぎり
当地に滞留した故事に因み
第29代欣明天皇の2年に
青柳村に鎮座する旧官幣中
社金鑽神社の遥宮として創
建されたと伝えている。

当地は児玉党本庄氏の本
貫で当社をもって領内総鎮
守とし崇敬も篤かった。弘

治2年《1556》本庄宮内少輔実忠が社殿を造営、寛
永16年《1639》本庄城主小笠原忠貴が社殿を再建、
自筆の額面と願文を奉納している。その後、宝磨6
年《1756》別當威徳院の火災で旧記類を焼失、安永
7年《1778》本殿の修理を行い幣殿・拝殿も改築し
た。翌8年仁和寺宮法親王から御紋付紫絹、絹幕提
灯などの寄進もあった。その後、老中松平定信も社
号額を奉獻している。それらの由緒に鑑み明治17
年《1884》には県社に列せられた。

☆ガバナー事務所からのお願い☆

- ◎出席報告は、翌月14日必着で報告してください。
- ◎会員増強報告は、毎月10日必着で報告してくだ
さい。
- ◎新入会員及び会員のご逝去に関しては、ガバナ
ー事務所からの所定の用紙にご記入の上、顔写
真を速やかにお送りください。
- ◎RI・地区への送金、その他の報告につきまして
も、提出期限を厳守してください。
- ◎ポールハリスフェロー・ベネファクター・米山功
労者・米山功労法人については、必要事項に顔
写真を添えてご報告下さい。

9月のスケジュール		
1	火	公式訪問－所沢RC／新所沢RC（夜間）
2	水	公式訪問－志木RC
3	木	公式訪問－皆野・長瀬RC
4	金	
5	土	R財団第1回オリエンテーション
6	日	
7	月	
8	火	公式訪問－深谷、岡部、深谷ノースRC合同
9	水	公式訪問－寄居RC
10	木	
11	金	公式訪問－狭山RC
12	土	ブライダルパーティー／米山奨学生研修旅行
13	日	R財団部門セミナー／
14	月	公式訪問－朝霞キャロットRC（夜間）
15	火	公式訪問－越生毛呂RC
16	水	公式訪問－川越西RC
17	木	公式訪問－新座RC
18	金	公式訪問－川越小江戸RC
19	土	第2回諮問委員会
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	公式訪問－熊谷RC
26	土	
27	日	新世代部門セミナー
28	月	
29	火	公式訪問－川本RC（夜間）
30	水	

10月のスケジュール		
1	木	
2	金	公式訪問－富士見RC
3	土	
4	日	
5	月	公式訪問－所沢中央RC（夜間）
6	火	
7	水	公式訪問－上里RC（夜間）
8	木	
9	金	公式訪問－志木柳瀬川RC（夜間）
10	土	
11	日	
12	月	体育の日 秩父RC 45周年
13	火	公式訪問－吹上RC
14	水	
15	木	公式訪問－行田RC
16	金	公式訪問－深谷東RC
17	土	ブライダル相談会（北坂戸オルモ）
18	日	
19	月	公式訪問－本庄南RC（夜間）
20	火	公式訪問－行田さくらRC
21	水	公式訪問－熊谷籠原RC／熊谷南RC（夜間）
22	木	公式訪問－所沢東RC
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	公式訪問－新狭山RC（夜間）
27	火	公式訪問－狭山中央RC
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

文 庫 通 信 (263号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

- ◎「ロータリーの綱領について」 豊田章二 2009 2p (D.2670)
- ◎「『奉仕の理想』に関する一考察」 岩渕 均 2009 3p (D.2770)
- ◎「なぜ決議23-34が重要なのか」 山崎淳一 2009 2p (D.2830)
- ◎「ゴール無きロータリーの行方（年表的考察）」 諏訪昭登 2009 4p (D.2710)
- ◎「日本における正三の“職業倫理観”とロータリーの“職業奉仕”」 綱木保利 2009 2p (D.2510)
- ◎「ロータリアンの誇りと自覚（責任）」 伊藤政一 2009 2p (D.2800)
- ◎「DLP（District Leadership Plan）に関して」 服部芳樹 2009 2p (D.2630)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

【ロータリー文庫】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 ■開館 午前10時～午後5時 ■休館 土・日・祝祭日



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570

7月度 出席及び会員数報告

第1グループ (11RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	7月 末	7月 入会数	7月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	7月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
川 越	4	88.08	88.08	87	88	2	1	2	1	1	1	0
東 松 山	3	82.69	82.69	37	37	0	0	0	0	0	0	1
小 川	5	86.00	86.00	11	11	0	0	0	0	0	0	1
坂 戸	5	88.74	88.74	25	25	0	0	0	0	0	0	0
越生毛呂	4	78.70	78.70	28	28	0	0	0	0	0	0	1
川越小江戸	5	94.24	94.24	22	22	0	0	0	0	0	0	0
川 越 西	5	91.99	91.99	20	21	1	0	1	0	1	1	1
鶴ヶ 島	4	88.00	88.00	29	29	0	0	0	0	0	0	2
川越中央	3	72.24	72.24	35	35	0	0	0	0	0	0	0
坂戸さつき	5	95.41	95.41	21	22	1	0	1	0	1	1	5
東松山むさし	4	83.87	83.87	32	33	1	0	1	0	1	1	2
合 計		86.36	86.36	347	351	5	1	5	1	4	4	13

第4グループ (12RC)

クラブ名		例会数	出席率 (%)		会員数 (人)							
			当月	通算	年初 (7/1)	7月 末	7月 入会数	7月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	7月度 純増数	本年度 純増数
深 谷	4	88.28	88.28	64	65	1	0	1	0	1	1	8
本 庄	5	93.00	93.00	65	68	3	0	3	0	3	3	6
秩 父	4	85.30	85.30	52	52	0	0	0	0	0	0	0
寄 居	4	78.37	78.37	37	37	0	0	0	0	0	0	1
児 玉	4	65.75	65.75	19	19	0	0	0	0	0	0	0
岡 部	4	78.90	78.90	22	22	0	0	0	0	0	0	2
深 谷 東	5	70.01	70.01	65	65	0	0	0	0	0	0	0
上 里	3	95.80	95.80	7	8	1	0	1	0	1	1	0
川 本	4	93.00	93.00	17	17	0	0	0	0	0	0	0
皆野・長瀬	4	91.20	91.20	17	17	0	0	0	0	0	0	3
本 庄 南	3	69.32	69.32	21	22	1	0	1	0	1	1	0
深谷ノース	3	76.31	76.31	37	38	1	0	1	0	1	1	0
合 計		82.10	82.10	423	430	7	0	7	0	7	7	20

第2グループ (9RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	7月 末	7月 入会数	7月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	7月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
朝 霞	4	100.00	100.00	35	32	0	3	0	3	-3	-3	0
上 福 岡	5	82.40	82.40	17	17	0	0	0	0	0	0	0
志 木	5	94.99	94.99	48	48	0	0	0	0	0	0	0
富 士 見	5	88.30	88.30	46	46	0	0	0	0	0	0	0
新 座	5	89.84	89.84	33	33	0	0	0	0	0	0	3
和 光	5	90.52	90.52	21	21	0	0	0	0	0	0	0
朝霞キャロット	3	91.42	91.42	12	12	0	0	0	0	0	0	0
志木柳瀬川	5	93.40	93.40	14	14	0	0	0	0	0	0	6
新座こぶし	5	96.25	96.25	16	16	0	0	0	0	0	0	3
合 計		91.90	91.90	242	239	0	3	0	3	-3	-3	12

第5グループ (10RC)

クラブ名		例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
			当月	通算	年初 (7/1)	7月 末	7月 入会数	7月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	7月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
熊 谷	5	86.16	86.16	89	89	0	0	0	0	0	0	0	3
行 田	5	75.16	75.16	55	55	0	0	0	0	0	0	0	1
羽 生	4	84.00	84.00	36	35	0	1	0	1	-1	-1		2
加 須	5	87.89	87.89	39	39	0	0	0	0	0	0	0	1
熊 谷 西	3	69.83	69.83	26	26	0	0	0	0	0	0	0	1
行田さくら	4	79.20	79.20	39	40	1	0	1	0	1	1	0	
熊 谷 東	4	92.76	92.76	31	32	1	0	1	0	1	1	2	
吹 上	4	100.00	100.00	15	15	0	0	0	0	0	0	0	
熊谷籠原	4	96.07	96.07	27	27	0	0	0	0	0	0	0	
熊 谷 南	4	63.00	63.00	26	27	1	0	1	0	1	1	2	
合 計		83.41	83.41	383	385	3	1	3	1	2	2	12	

第3グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	7月 末	7月 入会数	7月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	7月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
入 間	5	85.30	85.30	43	43	0	0	0	0	0	0	1
所 沢	4	82.57	82.57	65	65	0	0	0	0	0	0	4
飯 能	4	90.24	90.24	62	62	0	0	0	0	0	0	1
狭 山	4	98.95	98.95	24	24	0	0	0	0	0	0	1
新 所 沢	4	89.29	89.29	33	33	0	0	0	0	0	0	2
日 高	4	87.50	87.50	24	24	0	0	0	0	0	0	4
所 沢 西	5	89.70	89.70	44	44	0	0	0	0	0	0	1
新 狭 山	3	90.67	90.67	25	25	0	0	0	0	0	0	0
所 沢 東	5	93.59	93.59	36	38	2	0	2	0	2	2	3
入 間 南	4	90.10	90.10	35	35	0	0	0	0	0	0	0
所沢中央	3	90.30	90.30	37	37	0	0	0	0	0	0	0
狭山中央	4	83.66	83.66	33	33	2	2	2	2	0	0	5
合 計		89.32	89.32	461	463	4	2	4	2	2	2	22

総グループの合計 (54RC)

出席率 (%)		上段・54クラブ会員数 (人) / 下段・女性会員数									
当月	通算	年初 (7/1)	7月 末	7月 入会数	7月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	7月度 純増数	本年度 純増数		
		1856	1868	19	7	19	7	12	12		
86.45	86.45	79	79	0	0	0	0	0	0		

